

# 安土・桃川

安らぎの土地——安土。

淡海と大地が広がる郷土は、  
かつて戦国の雄が夢見た都。

町制五十六年。

夢の実現に向けて培ってきた歩みこそ、  
私たちの誇りである。

滋賀県安土町



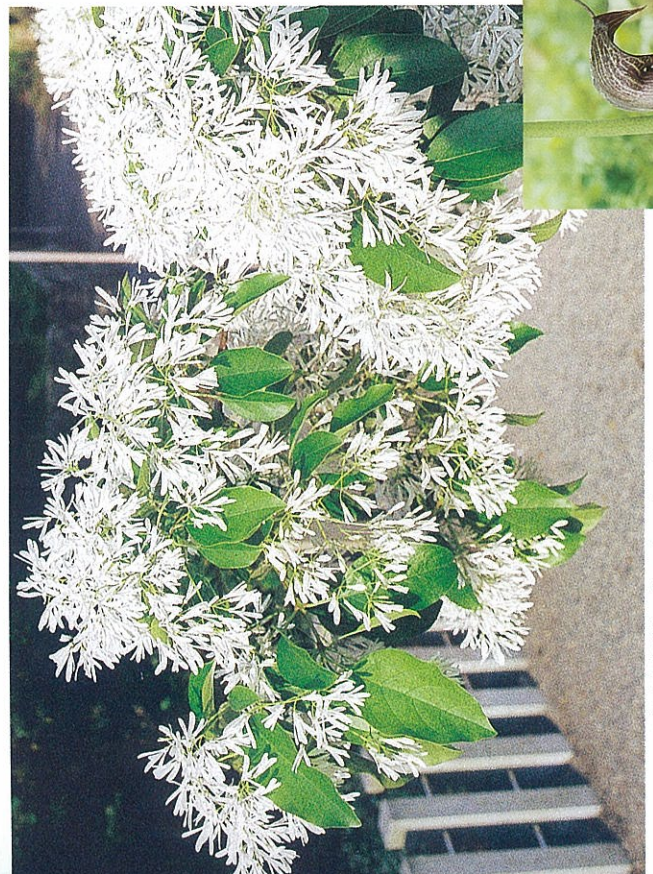
風高吟



# 安土の誇り

— 目次 —

安土情緒	4
第二章	
誇りにふれる	12
ぶらり安土紀行	14
第三章	
誇りを繋ぐ	20
写真で見る郷土の変遷	
1 「歴史と自然を活かしたまちづくり」	22
2 「水と道の交差点」	24
3 「産業の振興」	26
4 「福祉のまちづくり」	28
5 「教育施設」	30
第三章	
誇りを培う	32
ふるさと逍遥	34
安土城と織田信長	36
安土城発掘調査と整備	38
天正少年使節と安土セミナーヨ	39
交流の変遷 近世の扉を開いた信長と安土	40
文化創造 文芸の郷周辺	42
漫画「安土歴史探訪」	44
安土祭時記	50
ふるさと再発見 郷土料理	54
年表 安土町56年のあゆみ	56
安土町誕生簡史	58
昭和29年〜35年	60
昭和36年〜40年	62
昭和41年〜45年	64
昭和46年〜50年	66
昭和51年〜55年	68
昭和56年〜60年	70
昭和61年〜平成2年	72
平成3年〜7年	74
平成8年〜12年	76
平成13年〜17年	78
平成18年〜22年	80
メッセージ集 私たちの誇り	82
安土の伝承	83
安土町イラストガイド	94
ごあいさつ	96
資料編	97



沙沙貫神社のなんじゃもんじゃ



沙沙貫神社のうらしま草

春の訪れを告げて、まらのあちらこちらで  
 つばみをほころはせる花々。  
 戦国の世に一時代を築いた城跡に咲き誇る桜は、  
 在りし日の榮華をしのばせます。  
 新緑が萌えるころ、うらしま草や  
 なんじゃもんじゃの花が彩りを添えます。

春の西の湖



# 安土情緒

# 春



菜の花



文芸の郷の御衣黄桜

江藤の桜 [安土城跡]



# 安土情緒

夏の日差しに西の湖の湖面がきらきらと輝き、  
鳥のさえずりをBGMに、湖畔にはがるヨシ原が、  
湖上を吹き抜けるさわやかな風にそよいで涼を誘います。  
照りつける太陽、みずみずしい田園、大輪のひまわり等々  
あざやかで生命力に満ちた色彩の競演です。

# 夏



大中のスイカ



夏の風景



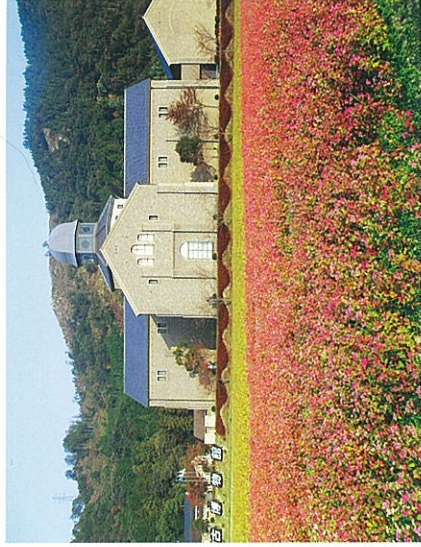
夏の西の湖



文芸の郷のヒマワリ



涼を運ぶ湖面の青



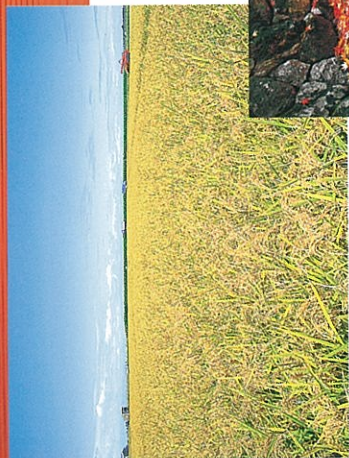
安土城考古博物館とそばの花

教林坊の紅葉



西の湖の夕焼け

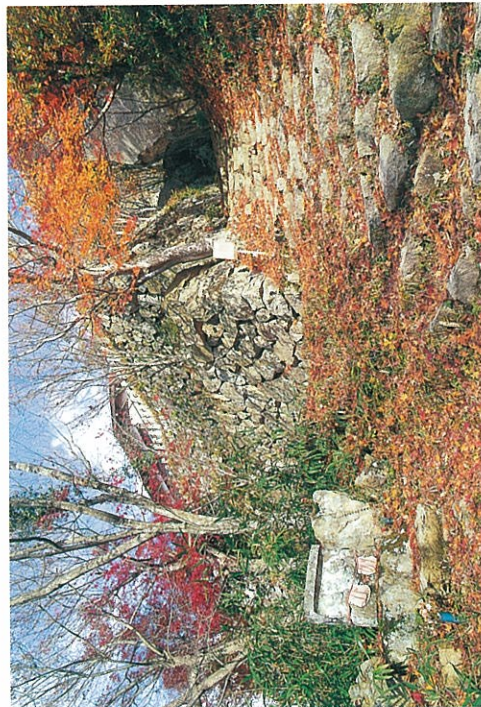
たわわに実った稲穂が  
豊穣のシンボルのように黄金色に輝きます。  
遠く比叡の山並に沈む夕陽に  
西の湖も空も朱に染まるのとシンクロするかのように  
山々や古刹の木々は紅や黄に色つき、  
安土の風景は秋色一色につつまれます。



秋の実り(稲)



紅葉



岩戸山十三仏の秋

# 冬



地藏



雪に白化粧の竹林

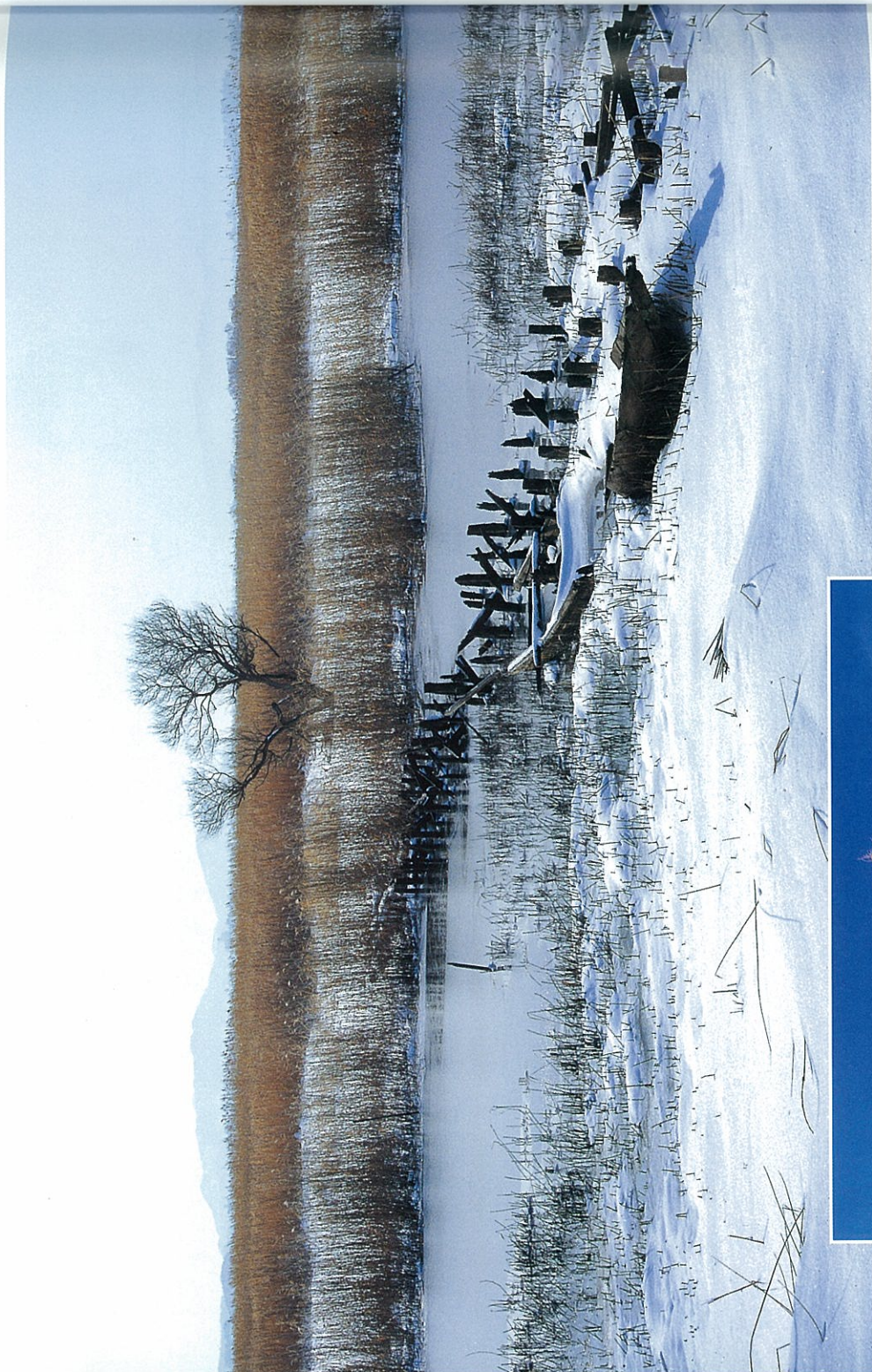


静寂の朝

雪化粧がほどこされると、  
 まちは豊葎とは違ふ表情を見せ、  
 木枯らしの吹く街路に  
 幾千もの冬の妖精が舞い降りてきます。  
 西の湖では寒風の吹く中、風物詩のヨシ刈りが行われます。  
 古くから続いてきた自然を守る営みに守られ、  
 いきものは来たる季節に備えて、  
 ひとときの眠りについでています。



雪化粧



西の湖に降り積もる雪



西の湖の宝もの

